



ジャガー・ルクルト&アマンダ・セイフライドがお届けする 愛にあふれた季節のご案内

オスカー賞にノミネートされたアマンダ・セイフライドに再びスポットライトを。写真撮影は、著名なニューヨークフォトグラファーの Alique がジャガー・ルクルトのために特別に担当しています。

2019年以來フレンド・オブ・メゾンである彼女の手首を飾るのは、ダズリング・ランデヴー・ナイト&デイ。ロマンスにあふれる喜びと神秘性をエレガントに描き出すこのデザインは、きらめくダイヤモンド、温もりあふれる輝きを放つマザー・オブ・パールダイヤル、繊細なデイ&ナイト表示を備えています。

アマンダが初めてジャガー・ルクルトに出会った際、ジャガー・ルクルトの美しさとロマン主義にインスパイアされた女性らしい複雑機構に魅了されました。「私は昔からずっと夜空の美しさの虜でした。どこかミステリアスで、ロマンチックな魅惑を秘めているからです。こうした優美さを時計製造のノウハウと組み合わせることは、本当に素晴らしいと感じています。」

ダズリング・ランデヴーのマザー・オブ・パールダイヤルには、ゴールドに輝く星たちをあしらった虹色の文字盤にナイト&デイ表示が配され、文字盤が回転し、日が夜へと移行するにつれて、美しく弧を描く魅惑的な太陽の光線が、ゴールドにきらめく三日月へとゆっくりと姿を変えていきます。

アマンダは丸型時計への変わらぬ愛情を以下のように語っています。「ダズリング・ランデヴーにあしらわれたダイヤモンドが、このタイムピースを新たなレベルへと引き上げています。この輝きには言葉では言い表せないような魅惑が宿っています。」

36個もの宝石をあしらった外側のリングによりダイヤルを包む2列のダイヤモンドが、タイムピースに幻想的な魅力を添えています。ゴールドの爪留めによって高さを出すことで、ダイヤモンドはまるで時計のケースの上に浮かんでいるように見え、視覚的な奥行きを生み出しています。

ロマンスを讃えたダズリング・ランデヴー・ナイト&デイは、愛と誠実さに溢れた永遠へと導く体験をお届けします。

アマンダ・セイフライド 経歴



アメリカ人女優であるアマンダ・セイフライドは、ティーンエイジャーとしてメロドラマでキャリアをスタートさせ、後に『ミーン・ガールズ』（2004年）やHBOシリーズ『ビッグ・ラブ』などで注目を集めました。国際的な名声は、メリル・ストリープとピアース・ブロスナンと共演した『マンマ・ミーア!』（2008年）や『レ・ミゼラブル』（2012年）を含む数々の著名な作品で演じた役によって確固たるものとなりました。2021年には、『Mank/マンク』にて演じたマリオン・デイヴィス役でオスカー賞助演女優部門にノミネートされています。彼女の最新作『闇はささやく』は2021年11月に公開されました。アマンダはニューヨーク州北部にある農場で、夫であるトーマス・サドスキーと2人の子供と共に過ごしており、彼女は2019年の1月以来ジャガー・ルクルトのフレンド・オブ・メゾンです。

ランデヴーコレクションについて

2012年に開発されたランデヴーコレクションは、ジャガー・ルクルトが女性に向けて展開するコレクションを代表する存在となりました。コレクションの発表時、ランデヴーコレクションはその卓越した機械式ムーブメントと興味深い複雑機構を、エレガントなデザイン、洗練されたディテール、直径36mmという大きさと組み合わせたことにより、他の女性向けの時計を圧倒する作品となりました。コレクションの名前の由来となった当初のモデルのダイヤルには、約束（フランス語でランデヴー）を記すための小さな星があしらわれていました。それ以来このコレクションには、様々な複雑機構や異なるデザイン解釈が採用され続けています。

ジャガー・ルクルト：1833年から続く、高級時計製造のホーム

ジュウ渓谷に位置する私たちのホームであるメゾンによって、独特の帰属性が生まれています。まさにここが、ジュラ山脈の類まれな景色に着想を得ながら、果てることのない「内なる炎」に導かれて、グランド・メゾンの精神が生まれる場所です。すべての作業がひとつ屋根の下で行われているこのマニュファクチュールでは、時計職人、エンジニア、デザイナー、職人が一丸となって働き、高級時計製造が生み出す作品すべてに命を吹き込みます。類まれなエネルギーと、創造の精神が原動力となり、私たちは控えめな洗練さと技術的な創造性を培っています。この創造の精神は、私たちファミリーの一人ひとりとのコミットメントを日々促す存在となっています。1833年以来変わらぬこの精神が、1,200以上のキャリバーを生み出すパワーの源であり続け、時計製造における卓越した存在として現在のジャガー・ルクルトへと導いているのです。